

市政を質す！ 会派代表質問・一般質問

令和7年第1回定例会において、議長を除く21人の議員が質問を行いました。
会派代表質問は、会派の代表が市長に対して令和7年度の当初予算について、一般質問は、市長などの執行部に対して、市の政策や方針について質問を行いました。
動画は牛久市議会 YouTube チャンネルでご覧いただけます。
各議員のページに掲載している二次元コードからご覧ください。



知っ得

通告制とは

会派代表質問・一般質問は、「質問通告書」を議長あてにあらかじめ提出させることとしています。通告制を採用する理由は、質問の内容が分からないと執行部の方で十分な準備ができず、議員にとっても満足のいく答弁が得られないという問題が生じ、能率的な議会運営ができなくなるからです。



市民クラブ
杉森 弘之 議員



便利な公共交通に

答弁) 事業の見直しや新技術の導入も

会派代表質問

東部地域の懸案事項

質問

東京都心のような公共交通をイメージしても難しいが、運賃が安く、便数と運行時間帯がある程度確保されれば、便利な公共交通になるのではないかと。

「うしタク」を基幹交通に

そのためには、まず市街化区域の公共交通を整備するために、デマンド型の「うしタク」を月曜から日曜まで休みなく、午前7時から午後9時頃までの運行を保障し、基本運賃300円、障がい者・高齢者等の割引を200円程度など、もっと気軽に便利に利用できるようにすること。そして、

システムを抜本的に改革し、「うしタク」を文字通り基幹交通にすることが必要ではないか。

基幹路線バスを自動運転に

もう一つ、民間路線バスとかがっぱ号については、通勤ライナーを始めとする基幹路線は自動運転バスに切り替えることをめざし、特区構想も含め、国の地方創生のための施策等を十分に活用して整備することもできる。

市街化調整区域は別系統で

さらに市街化調整区域については、別の形でデマンド型交通を整備して、市全体の公共交通の整備を進めることを検討したらどうか。

答弁 (市長) かがっぱ号も「うしタク」も利用実績が回復してきた。現行の地域公共交通計画が来年度に最終年度となるため、計画の改定作業にすでに着手しており、ご提案にあった事業の見直しや新技術の導入を含め、公共交通の再編に向け検討していく。

ように
られる
に抑え
分以下
在の半
費を現
運行経
たりの
1人当



基幹交通として期待される「うしタク」

市営青果市場を旧奥野小跡地に

自民党うしく 21
石原 幸雄 議員



答弁) 利活用策の一つとして検討する

旧奥野小校舎跡地の利活用策

質問

本件については地域住民から当該校舎の直近を通過するの電ヶ崎阿見線バイパスを見据えて、農産物等の直売所の設置を求める声が多い。

一方、本市直営の牛久青果市場についてはこれまでの執行部とのやり取りの中で現在地からの移転を含めて今後のあり方を検討していくとの回答が示されている。そこで当該市場を旧奥野小校舎跡地に移転させ、併せて農産物直売所等として機能させては如何か。

答弁 (市長) 利活用策の一つとして検討する。

牛久グリーンファームの今後のあり方

質問

牛久グリーンファーム(株)は長らく赤字経営が続いておりその先行きを憂慮する市民の声が多い。一方、同社の今後のあり方に係わる令和4年9月定例会での執行部答



牛久運動公園テニスコート

テニスコートの補修

質問

牛久運動公園の7面のテニスコートの劣化が著しいが、利用者の多くが高齢者であることを踏まえ足腰に優しいソフトコートの復活に向けて計画的に補修すべきと考えるがどうか。

答弁 (市長) 計画的に対応していく。

日頃からの市道点検、7年度は

公明党
伊藤 知子 議員



答弁) 7年度に「LINE」通報システムの導入を予定

質問 八潮市でのケースを踏まえ、道路点検の考え、新技術の活用は。

答弁 (市長) 7年度に「LINE」を活用したシステムの導入を予定。市民からの道路破損等の写真や位置情報の通報により迅速な対応が可能。

新技術の点検は、地中レーダーを搭載した空洞探査車で陥没事故の可能性の有無を確認。その他、東北大と共同でスマートフォンを用いた日常点検支援システムを試験導入。パトリール時の通行経路でのAIが検知した損傷等を地図上に反映させ修繕箇所の選定など活用が期待できる。



スマートフォンで撮影し損傷状態を点検できるシステムが実証開始

住みよい市営住宅へ

質問

市営住宅入居の改善に関して伺う。

答弁 (市長) 特に単身高齢者の方で連帯保証人の確保が難しく、2名必要としていた保

証人を1名に緩和、さらには市が民間の保証法人と協定を締結。入居希望者が保証法人と家賃債務契約をすることで入居ができる。また、古い市営住宅では浴槽と風呂釜を自己負担で用意する必要があったが、国の交付金を活用し、ユニットバスへ改修する工事を進めている。これにより設置費用が不要となる。

牛久シャトーの整備

質問

牛久シャトーへの駅前の案内表示の整備は。

答弁 (市長) 牛久駅から牛久シャトーへ誘導するために、一体感あるレンガ調の舗装やアーチを下からライトアップし視認できる駅東歩道橋の改修工事と合わせ、経路上の数が所に写真やイラストと距離を明記した路面案内表示を7年度に設置できるよう進めている。

(掲載以外の質問事項)

○7年度予算編成・带状疱疹予防接種・未就学児医療費無償化・子ども家庭センター新設



うしく未来プロジェクト
塚原 正彦 議員



牛久の百年を構想するシビックプライドを

答弁) 日本遺産評価委員会の動向を探り対応する

質問 市民がまちへの誇りをいただき、まちを良くしようという思いを育む取り組みがシビックプライドで、日本遺産の認定を受けた牛久市には、文化資源をみがきあげる新しいプログラムを実行し、価値をつくる取り組みが求められている。

牛久市が認定を受けているそれは、「国産ブドウで醸造する和文化的結晶」という物語で、百年前に牛久の自然や風土をいかし、世界から称賛を受けた「牛久葡萄酒」をつくりあげた人々の知恵や努力を未来に発展させる取り組みが求められている。

市制40周年を起点に牛久のあらゆる文化資源が日本遺産であるという視点から、過去と未来を結びつけた多様な体験や学びのプログラムを次々につくりだす「シビックプライド百年都市構想」を展開

【日本遺産への誤解を招いてしまった牛久市の取り組み】

- 【失敗1】牛久シャトーの飲食物販事業が日本遺産と誤解
- 【失敗2】企業遺産中心で、牛久市のストーリーがない
- 【失敗3】市民が活動する仕組みや拠点が無い
- 【失敗4】博物館活動への予算が近隣より低レベル
- 【失敗5】集客イベントでオーバーワーク

し、市庁舎、近隣公園、牛久シャトーを世界中から集まった文化起業家が人と地球にやさしいアートやプログラムを創造する新しい集いの場（市役所）に整備することを提案するが。

答弁（市長） 日本遺産の評価を受けるのは2年後で、調査項目、評価方法について情報を収集し、課題を整理しているところ、引き続き牛久シャトーの再建に取り組みたい。



日本維新の会
伊藤 裕一 議員



物価高騰対策と教育・子育て政策

答弁) 子育て世帯に配慮した取り組みを進めている

質問 物価高騰対策を教育・子育て政策につなげる考えについて伺う。

答弁（市長） 給食費の食材価格高騰に対する支援、中学校の給食費無償化を実施、未就学児の医療費無償化に取り組んでいる。今後も教育・子育て政策に関する物価高騰対策について検討する。

質問 所得に関わらない幅広い市民の支援について見解を伺う。

答弁 令和5年度後期分からハートフルクーポン券プレミアム分を物価高騰対策を含め10%から20%へ引き上げしている。

令和7年度予算案

質問 歳出削減の具体例は。

答弁（市長） 移住支援補助金やエコフェスタ補助金の廃止、たまり場補助金の見直し等を実施した。

質問 歳入増となったが要因は。

答弁 定額減税の終了、個人所得の増加、企業の設備投資

による市税の増加、地方交付税、贈与税及び各種交付金の増額等による。

レジ袋兼用ごみ袋の販売を

質問 スーパーやコンビニなどで、買い物用レジ袋としても使えるゴミ袋を販売する事例がある。プラスチックごみ削減や経費節減につながると考えるが本市でも販売する考えはないか。

答弁（市長） 柏市や三重県伊勢市、福岡市で販売を実施していることを確認しているが、実施期間が1年に満たないため、今後の経過を見守る。廃棄物減量等推進審議会でのご意見を踏まえ、ごみ袋の形状や販売方法、ごみ減量化対策などについて検討していく。



柏市の「レジごみ袋」

令和7年度牛久市予算は

小松崎 伸 議員



答弁) 新たな事業を数多く盛り込んだ予算

質問 予算編成の基本的考え方について伺う。

答弁 (経営企画部長) 無駄を徹底して排除し、新たな事業を数多く盛り込み、牛久市の魅力度を高め、人口流入の促進につながる特徴ある予算である。

質問 第4次総合計画第2期基本計画で掲げる「7つの重点プロジェクト」について伺う。

答弁 (市長) まず、「牛久ブランドディングプロジェクト」は、戦略策定及び「ラブライブ・スーパースター!!」とのコラボレーション企画を展開する。「子育て全力応援プロジェクト」は、未就学児医療費無償化を令和7年4月受診分から開始する。「ワインと食のまちづくりプロジェクト」は、牛久シャトーの再生を核とした取り組み。有識者会議において策定される事業再生計画を踏まえ、市民が誇れる文化とにぎわいを創出する。「市民の足づくりプロジェクト」では、地域連携公共ライ



ドシェアを継続して実施する。地域への説明会の開催や公式SNSなどを活用し、周知を図っていく。

「スマート窓口プロジェクト」は、市役所窓口の待ち時間ゼロを目指す取り組み。

「国際交流活発化プロジェクト」は、国際姉妹都市、友好都市の交流により、身近な国際化を実現する。

「牛久に住もう働こうプロジェクト」は、移住定住の促進や企業誘致の取り組み。

質問 基金残高の確保と市債残高の管理を伺う。

答弁 (経営企画部長) 今後、財政調整基金を含めた基金の着実な残高確保と市債残高の抑制を図っていく。

投票支援ツールの活用を

鈴木 勝利 議員



答弁) 次回選挙に導入できるよう準備をしていく

質問 「投票支援カード」や「コミュニケーションボード」を導入しては。

答弁 (総務部長) よくある質問や依頼等をイラストで記載した「コミュニケーションボード」、必要とする支援や配慮してほしい事柄を記入した「投票支援カード」は、有効な手段であると考え、次回選挙に導入できるよう準備をしていく。

質問 目の不自由な方が代理記入でなく、自ら記入できるように支援する「投票用紙記入補助具」の導入は。

答弁 検討していく。



龍ヶ崎市内で使用しているコミュニケーションボード

今後の公共交通の在り方

質問 「地域連携公共ライドシェア」における課題は。

答弁 (経営企画部長) デジ

質問 「投票支援カード」や「コミュニケーションボード」を導入しては。

答弁 (総務部長) よくある質問や依頼等をイラストで記載した「コミュニケーションボード」、必要とする支援や配慮してほしい事柄を記入した「投票支援カード」は、有効な手段であると考え、次回選挙に導入できるよう準備をしていく。

質問 目の不自由な方が代理記入でなく、自ら記入できるように支援する「投票用紙記入補助具」の導入は。

答弁 検討していく。

質問 災害時の大切な避難所となり、普段は子どもたちにとって大事な生活の場となっている学校体育館へのエアコン設置を推進していくべきでは。

答弁 (教育部長) 設置は相当な費用がかかるうえ、ランニングコストも課題となるので、慎重かつ計画的に進めるべきと考えている。

質問 「投票支援カード」や「コミュニケーションボード」を導入しては。

答弁 (総務部長) よくある質問や依頼等をイラストで記載した「コミュニケーションボード」、必要とする支援や配慮してほしい事柄を記入した「投票支援カード」は、有効な手段であると考え、次回選挙に導入できるよう準備をしていく。

質問 目の不自由な方が代理記入でなく、自ら記入できるように支援する「投票用紙記入補助具」の導入は。

答弁 検討していく。

質問 災害時の大切な避難所となり、普段は子どもたちにとって大事な生活の場となっている学校体育館へのエアコン設置を推進していくべきでは。

答弁 (教育部長) 設置は相当な費用がかかるうえ、ランニングコストも課題となるので、慎重かつ計画的に進めるべきと考えている。

池辺 己実夫 議員

アニメとタイアップしたプロモーション戦略は



答弁) 交流人口の増加に伴う地域経済の活性化を図る



質問 市独自に作成した限定デザインのカレンダーの配布やラブライブ！デザインのミナルウォーターが販売されるなど、アニメとタイアップした取り組みがなされているが、牛久市がアニメの舞台となったきっかけは。

答弁 (市長公室長) 昨年10月27日、NHKのEテレで放送のTVアニメ「ラブライブ！スーパースター!!」において、作品に登場する鬼塚夏美さん冬毬さん姉妹が牛久市民ということが明らかに、同時に牛久駅や牛久シャトー、牛久大仏が舞台となった。放送翌日には牛久シャトーや牛久大仏に多くのファンがおよし

なっているとの連絡を受け、その影響の大きさから、営業

戦略課において株式会社バンダイナムコフィルムワークスと連絡を取り、タイアップについて協議を開始した。

地域活性化に結びつける手法と今後の取り組み

質問 今後、アニメを活かした地域づくりをどのような取り組みで行って進めることを考えているのか。

答弁 (市長) 現在、市観光協会とともに、市内の複数の事業者とアニメとのコラボによる商品開発を進めている。市では、作品とのタイアップ事業を拡大し、今後、多くのファンが牛久市に行ってみたく

にコラボ商品を手に取ってもらうことができれば、新たにコラボ展開を行う事業者の増加にも繋がる。市全体が賑わう取り組みをサポートしていく。

柳井 哲也 議員

救急車を利用する際の留意点は



答弁) 軽症での利用には選定療養費の徴収がある

質問 高齢者となり車の免許を返納すると救急車の存在ほど心強いものはない。昨年末茨城県より新しい利用ルールが発表され、不安を感じている声があるが。

答弁 (保健福祉部次長) 県では重篤な救急患者の受入など、救急医療体制を維持するため、救急車で搬送された方のうち、救急要請時の緊急性が認められない場合に、一部の大病院において選定療養費を徴収することに決定した。選定療養費とは、患者が紹介状なしで大病院を受診した場合にかかる費用のことです。救急車そのものの有料化ではない。緊急性が認められない場合の具体例は、軽い切り傷や擦り傷のみ、

37・4度以下の微熱のみなどである。

市内には2医療機関がその対象となっている。

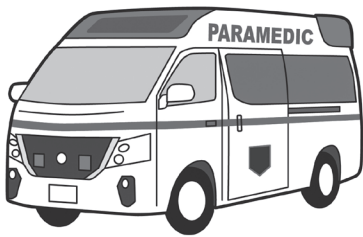
質問 新ルール採用による改善状況はあるのか。

答弁 救急搬送件数のうち軽症等の数は、令和6年12月の一ヶ月間に6033件で、前年同月比で5・1%減少しており、救急車の適正利用や救急医療の逼迫緩和に一定の効果があったと県は見ている。

米農家への支援策

質問 米農家への支援策はどうなっているのか

答弁 (市長) 当市の水稻農業者に対する支援は、飼料用米や麦等の作付けを推進する国の政策と併せて国の補助金額に約20%から75%を上乗せする形で市独自の補助を行っている。また市内の認定農業者を対象に1回につき20万円の給付金を令和4年度は1回、5年度は2回実施しており6年度も実施している。



直近3年間の転入・転出の状況は

出澤 大 議員



答弁) 全体では518人の転入超過である

牛久市人口推移(住民基本台帳人口)

	人口	前年比
平成20年12月末	79,203	
平成21年12月末	80,003	800
平成22年12月末	80,962	959
平成23年12月末	81,676	714
平成24年12月末	83,409	1733
平成25年12月末	83,990	581
平成26年12月末	84,378	388
平成27年12月末	84,703	325
平成28年12月末	85,022	319
平成29年12月末	85,255	233
平成30年12月末	85,036	-219
令和1年12月末	84,852	-184
令和2年12月末	84,868	16
令和3年12月末	84,497	-371
令和4年12月末	84,293	-204
令和5年12月末	84,085	-208
令和6年12月末	83,820	-265

本市の人口は平成29年12月末の85,255人がピークであります。その後の6年間で1435人の減少しているが、1年平均240人ほど減少しています。

(本人作成)

質問 本市の2025年の人口推計は84703人となっていたが、2021年5月には既にその人口を下回っている。以前の一般質問で新たに推計を出すのご答弁いただいたが、現状をうかがう。

答弁 (経営企画部次長) 今年度策定を進めている。国立社会保障・人口問題研究所による令和5年推計を基礎推計とした条件の見直しを行っており、本市のこれまでの人口推移を検証し、より現実に即した内容として推計している。現在の素案では2040年で82000人、2060年で81000人としている。人口が増えている自治体はこれから子どもを産み育てる世代の流入が増えている。

(掲載以外の質問事項)
○全国的に見ても少ない、牛久市の職員数について

金等を活用した子育てに特化した住宅の整備など、子育て世代への支援を拡充するお考えがあるのかをうかがう。

答弁 (建設部長) 県内で地域優良賃貸住宅を整備し、移住・定住促進を図っている自治体はあるが、本市の住宅施策として市営住宅などの再整備が喫緊の課題である。このような理由から現時点では地域優良賃貸住宅の具体的な整備計画はないが、今後、移住・定住子育て支援を進める中でどのような支援が有効か、どのようなニーズがあるか、近隣市町村の動向も参考にしながら、本市に適した支援策を検討する。

ライドシェアは必要に応じて改善も行うか

磯山 和男 議員



答弁) 必要に応じ改善し多く利用されるよう努める

質問 災害時の避難に支援を要する方の情報として「要援護者台帳」と「避難行動要支援者名簿」が各行政区に配布されているが、情報開示には記載される本人等の同意を必要とするが、その同意の割合は、令和7年2月1日現在すべて

災害時への備え

質問 市街化調整区域を対象にライドシェアの運行が令和7年1月より開始されたが、今後、利用者や対象地域の方々の意見等も反映し、必要であれば改善も行うか。

答弁 (経営企画部次長) ライドシェアについては、今後登録者、利用者を増やし乗合率を高める運行を行うため、サービスの普及啓発、利用促進が必要と考える。今後、利用データを蓄積、検証すると共に、ライドシェアを利用した方、していない方双方の意見も踏まえ必要に応じ改善も行っていく。

質問 非常用浄水器の備えの推進の考えは。

答弁 災害時の飲料水確保に有用なものと考える。今後、自主防災組織を結成する行政区には案内をしていく。

質問 これら台帳及び名簿の情報提供の時機は。

答弁 (市民部次長) 要援護者台帳は月に1回。避難行動要支援者名簿は年1回更新し4月末を目途に配布するが、更新の頻度をより迅速に行えるよう考える。



災害時でも安全な水を



高嶋 基樹 議員

ライドシェア事業の実際のねらい



4市合同でスタートしたライドシェア

答弁) 公共交通を使い分け、全体のバランスを良くすること

質問 ライドシェア利用促進策として、本市独自の特典を実施する計画はあるか。

答弁 (経営企画部次長) まずは本サービス認知のため、普及啓発の強化と利用登録者数の増加を優先。その後は利用促進のアプローチに向けて、データ蓄積と検証を行い、独自の促進策を積極的に検討する。

質問 「デジタル活用による登録」の課題は。

答弁 本サービス利用にはWEBによる自宅登録が必要。これまでの住民説明会では「普段使わないから登録が難しい」などの声があり、デジタルへ移行することへの難しさを感じているところ。しかし、説

明会では職員による補助や、住民同士で教え合う光景も見られ、登録に繋がっている。今後も対象地域の区長に働きかけ、説明会を実施し、登録を諦めてしまう方がいないよう、環境づくりとサポートをしていきたい。

質問 うしタクとの使い分けは。

答弁 (市長) 複数のサービスを使い分けてご利用いただくことで、うしタクの配車に余力が生まれ、うしタクの予約も取り易くなることで、公共交通全体のバランスが良くなり、市民の足の確保に繋がることを期待し、実施しているところ。

質問 免許証返納をできる支援環境にあるか。

答弁 (経営企画部次長) すべての方が、車が無くても公共交通に頼れる、そのような基盤の整備に努めていく。

(掲載以外の質問事項)
○うしタクの予測値



山本 伸子 議員

市所有バス利用にあたっての見直し



答弁) 1団体は年2回までの利用と基準を決め運用

質問 市が所有しているバスの使用状況と維持管理費用の状況は。

答弁 (総務部次長) 大型バス2台、中型バス5台、マイクロバス1台の合計8台を保有。大型バスは学校活動、団体の研修活動などに、中型バスはおくの義務教育学校の児童生徒送迎や総合福祉センター巡回バスとして、マイクロバスは東部地域の総合福祉センター巡回バスに使用している。

また維持管理費は約1100万円となっており、そのうち燃料費は約500万円である。

質問 バスの稼働状況はどうか、またバス利用の見直しに至った経緯は。

答弁 様々な団体の活動に年間延べ272日運行している。安全な運行のため車両点検整備と運転手の休日確保を行い運行しているが、バスがないという事態もある。

そのため見直しを行い、1団体の利用は1年度あたり2

回まで、1回あたりのバス利用台数は2台までと明確な基準を設け平等性を担保した。また利用にあたり燃料代を負担いただくこととした。



53人乗りの牛久市の大型バス

前向きな電子図書館導入を

質問 電子図書館は交通弱者や不登校など様々な人たちがバリアを超えて利用できる可能性を持っている。調査検討が行われたが実施に至っていない理由は。

答弁 (教育委員会次長) 電子図書館は紙の書籍の2倍強の費用がかかることや、閲覧する権利が限られ恒久的な市の財産にならないなど課題もあり、慎重に判断していく。

下水道管の老朽化対策

加藤 政之 議員



答弁) スtockマネジメント計画に沿って対策している

質問 下水道事業ストックマネジメント計画の進捗状況について伺う。

答弁 (建設部次長) 汚水管路

の供用開始後40年以上経過した、約113キロメートルの約半分にあたる53キロメートルのカメラ調査が完了。また、計画的な改築や補強が必要と診断された管路が約480メートルあり、そのうち約160メートルは既に対策済。残りの約320メートルは令和7年度以降に改築工事を予定している。

空家対策

質問 管理不全空家また特定

空家の認定方法について伺う。

答弁 (市長) 国の基本指針に

照らし合わせ、同基準に該当する空家等について、庁内関係部署の課長級で構成された「牛久市特定空家等判定委員会」で審議し、専門委員で構

成された「牛久市空家等対策協議会」の助言を得たうえで認定している。

質問 空家が放置されることの

対応策として、特定空家等又は管理不全空家等に対して、固定資産税住宅特例措置が解除にいたった実例はあるか。

答弁 (建設部次長) 固定資産

税に係る住宅用地特例措置を解除する要件は、管理不全空家等や特定空家等に認定された上で、勧告が実施された場合となっており、現段階での勧告の実施措置はない。



ひたち野うしく小プールに水泳教室を

水梨 伸晃 議員



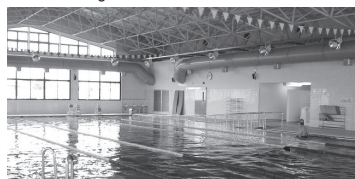
答弁) 積極的な施策を考える必要があると捉えている

質問 ひたち野うしく小学校プールは市内唯一の屋内型温水プールとして完成し、学校

授業はもちろん年間をつうじて利用できる「温水プール」という利点を生かし、一般の方にも開放し多くの皆さんが

利用してきた。しかし最近では1日の利用者数は少ないときに10名程度という日もあるので、地域のスポーツの場として充実するべきだと考える

答弁 (教育委員会次長)



ひたち野うしく小プール

当プールの重要性が高いことは承知している。積極的な施策を考える必要があると捉え、検討を始めている。

二十歳のつどいの開催時刻

質問 はたちという門出を祝

う大事な行事であり、はたちの皆さまが最も参加しやすく、思い出に残る時間を過ごせる

開催時刻を熟考するべきだと考えるいかがが。

答弁 (教育委員会次長) 生涯

学習課がお手伝いしているが、開催時刻は実行委員会メンバーが決めている。

学校運営協議会

質問 全国から多くの視察が

訪れる牛久市の学校運営協議会に、横の繋がりを作るべきだと思ふいかがが。

答弁 (教育委員会次長) 1年

に1度代表者交流会を開催している。

家庭用防犯カメラ設置に補助金制度を

質問 刑法犯認知件数は3年

連続で増加傾向である。官民協働し、市内全体の防犯カメラの台数を増やすことにより犯罪を抑制する意味で牛久市でも個人宅敷地内の家庭用防犯カメラ設置費用に補助金制度を設ける考えはあるのか伺う。

答弁 (市長) 個人情報の観点

において慎重な検討が必要。

黒木 のぶ子 議員

運転免許証返納者にタクシー無料券を



答弁) 引き続き様々な移動手段の確保を検討する

質問 長寿社会になり足腰が

弱い市民が多くなり、移動手段がなければ社会とのつながりが困難となる。うしタクシーをワンボックスカーにし、手をあげればどこでも乗れる取り組みは。

答弁 (経営企画部次長) うし

タクシーの利用を断る事例が増加しているので、引き続き様々な観点から移動手段の確保に向け検討する。

質問 70歳以上で自家用車がない世帯にタクシー無料券の助成は。

答弁 タクシー運賃助成は交通弱者への必要性は理解するが、誰もが移動手段を選択できる環境を整え公共交通全体の調整に努める。



児童虐待の現状

質問 児童虐待が10年間で3・2倍であるが、牛久市の児童虐待通告受理件数と、虐待

の内容は。

答弁 (保健福祉部長) 令和3

年から5年の合計で70件であるが虐待にあたると確認した件数は59件。虐待の種類は殴る蹴る等の身体的、言葉の脅し等の心理的や乳幼児を家に残し外出するネグレクト等である。

質問 虐待防止の現状と今後の取り組みは。

答弁 関係機関の見守りや声掛けで相談につなげ、支援を拒否した場合でも丁寧で長期の対応を実施している。令和7年4月よりこどもの未来応援センターを設置し、児童福祉業務と母子保健業務を一元化する。

ふるさと納税の戦略

質問 納税の増収を図る戦略と令和7年度の目標額。

答弁 (市長公室次長) サイトや返礼品数を拡大し、特産品の魅力を視覚や文言を効果的に見直し10億円を目標としたい。

藤田 尚美 議員

就学援助制度の判定基準は



答弁) 生活保護基準の1.15倍までを認定基準としている

質問 近年の物価高騰は多くの住民に影響を及ぼしている。こうした状況を踏まえると就学援助の収入の基準は引き上げる必要があるのではないかと考えるが就学援助認定基準の見直しを行う考えはあるか

答弁 (市長) 物価高騰は、学用品の価格にも影響しており教育費の負担が増大していることを受け、就学援助認定基準1・15倍を引き上げ拡充していく。

質問 周知について伺う。

答弁 (教育委員会次長) 現在は市のHPに掲載し誰でも閲覧できる。また、全保護者に申請の希望の有無を回答してもらい確認している。学校等でも申請を勧めているが引き続き必要な方に支援が行き届くよう周知していく。

終活支援の取り組み

質問 高齢者が安心して暮らすための終活支援の取り組みについて伺う。

答弁 (保健福祉部長) 平成30年から「わたしの手帳」を作成し配布している。この手帳は認知症になった時に適切な介護を受けられるよう自分の事について記載しておく機能と自分の死後の為に遺言書の有無、葬儀や埋葬他について記載する機能を併せ持つ。

質問 横須賀市と同様あるいは市の実態に即した独自の事業の考え又、「わたしの手帳」の保管場所の工夫が必要と考えるが。

答弁 市として高齢者が安心感をもって生活できるよう努めていく。「わたしの手帳」を救急ボトルに丸めて一緒に保管するご提案は有効と考え、又、チャック付ポリ袋に入れるなどの検証を行っていく。



わたしの手帳と救急ボトル

手話言語条例制定の必要性は？

須藤 京子 議員



答弁) 障がい福祉計画の見直しの中で把握していく

質問 2006年「障害者の権利に関する条約」で「手話は言語である」と定義され、その後日本でも国内法が整備されてきたが、全日本ろうあ連盟では手話を言語と位置付ける明確な規定がないとして「手話言語法」の制定を国に求めている。一方、地方自治体での条例制定は広がりを見せている。牛久市の考えは。

答弁 (保健福祉部次長) 市では課が把握している聴覚に障害のある方162名のうち手話使用者は約30名で、文字盤や筆談など手話以外の手段を用いている方が多い状況。今後、障がい福祉計画を見直す際、情報収集やコミュニケーション手段についての現状や課題の把握に努めていく。

質問 福祉窓口の手話通訳者の配置、派遣状況は。

答弁 令和4年までは5名の職員で月曜から金曜日まで常時1名配置していたが、現在は3名で週3日。手話通訳者の確保が課題だ。派遣事業は希望日の7日前までとなって



平成26年「手話言語法」制定を求める意見書請願を採択

質問 災害時における聴覚障がい者への情報提供の在り方等支援マニュアルはできているか。聞こえないことで起こる危険をどう回避すればよいか。その方法は検討されているか。

答弁 (市民部次長) 支援マニュアルはできていない。他市町村の作成事例等を踏まえ福祉部局と検討していきたい。災害時に自力避難が困難な人は避難行動要支援者名簿の対象者で、本人の同意確認をし、平時からの見守りにも繋げていく。

(掲載以外の質問事項)
○令和7年度予算

原発事故受入協定は

大森 和夫 議員



答弁) 大規模避難所を早期に引き渡す

東海第二原発放射能事故避難

質問 ひたちなか市との受入協定は。

答弁 (市民部長) 受入予定8475人。小・中学校・高校などで17とその他4力所。行政区の協力はない。

質問 牛久市の原発事故対応計画は。

答弁 牛久市までは60キロあり屋内退避となる。

質問 運転開始47年の老朽原発、今年2月も電源盤の火災事故など不安。対策と規制委員会、国・県への申し入れは。

答弁 国の責任で安全性が確保される。

茨城農芸学院井戸水調査結果

質問 ※有機フッ素化合物(PFOS・PFOA)調査結果と原因は。

答弁 (環境経済部次長) 暫定目標値の50ng/L以下で原因不明。

質問 水道水・農作物の調査と河川、

PFOS
PFOA

農作物の調査は。

答弁 調査の予定はない。

※代表的な人工化合物、PFOSやPFOAは人体や環境に対して有害性を持ち、国内で製造が禁止されている物質。ナノグラムは、10億分の1グラムを表す単位。

県南水道の県一元化

質問 茨城県水道一元化の参加と今後について。

答弁 (環境経済次長) メリットなく参加しない、連絡調整をしていく。

質問 水道管耐震検査と対策は。

答弁 耐震適合化更新を順次予定している。

質問 PFOA・PFOS調査結果は。

答弁 暫定目標値以下。

下水道管緊急点検

質問 下水道管緊急点検調査結果と老朽対策については。

答弁 (市長・建設部長) 市管理と県管理とも問題なし。



遠藤 憲子 議員



牛久シャトー(株)への市の考えは

答弁) 事業再生に向け市の結論を出したい



再生計画が待たれる牛久シャトー

質問 市がシャトー(株)をどうしていききたいのか、市の考えや方向性がまるで見えな。有識者会議の結論が市の考えになっていくのではと、危惧を感じる。市の考えは。

答弁 (環境経済部長) これ以上の負債(約1億4千万円)が増えることは許容できないと有識者会議を立ち上げた。市が事務局に入り、委員には副市長が入っている。事業再生の観点から市民からの意見募集や議会特別委員会の意見を取り入れ市の結論を出したい。

質問 シャトー(株)を残すのか。いったんは清算して新たにスタートするか。債務超過や赤字をどうするのか、シャトー(株)の役員体制は今のままで良いのか、なども含め

市の考えは。

答弁 * PFIも含め検討し、経営改善策や運営も行ってきた。賃料のバランス等も含め、シャトーは公益性が高く、飲食参入の余地もある。市民の意見や議会特別委員会の結論を参考にしていきたい。

答弁 (市長) 市の方向性を一日も早く決定づけるよう努めていく。

* 公共施設の整備や運営を民間の資金や能力を活用して行う手法のこと。

税金の投入の考えは

質問 補助金は投入しないと議会の附帯決議もある。令和7年予算で植栽管理約2千万円の計上。植栽管理を含め税金投入の考えは。

答弁 (環境経済部長) シャトーは市民の要望もあり一定の公益性がある。必要な景観保持に努めていく。

質問 全国事例でも第3セクターが責任を持って運営している状況が見られない。自治体が援助をしない方法の検討は。

答弁 (副市長) 公益性をどう評価するかであり、市民の意見を整理し考えていく。

市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

牛久シャトーの利活用に関する中間報告

3月24日、エスカード・シャトー特別委員会において中間報告を市長あてに提出しました。



エスカードおよび牛久シャトーの利活用の推進に関する調査特別委員会は、シャトーの運営のあり方について調査結果報告書を提出しました。

その中で以下の提言をしています。

- ① シャトーの管理運営と飲食・物販の営利事業とは別個のものと捉えるべき
- ② シャトーの建物や敷地の管理は文化財保護の観点から市が事業として担うべき
- ③ 赤字経営の牛久シャトー(株)の運営は飲食物販の民間事業者への委託などを含め再建プランの作成と実行体制づくりが必要

第1回臨時会

【国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による】

▶ 低所得者支援給付金及び定額減税不足額給付金
5億7001万5千円

▶ 物価高騰に対する介護施設、障害者福祉施設、民間保育園、医療機関、認定農業者、運送事業者、民間幼稚園、民間児童クラブ等への補助金
1億819万6千円

第1回定例会追認議案(財産の取得)の提出

予定価格2千万円以上の動産を取得する場合には、議会の議決に付さなければならないところ、議決を経ずに所得していたことが判明したため。

内容

▶ 令和6年度市役所本庁舎・分庁舎・第3分庁舎 LED 照明器具賃貸借 2213万5080円

▶ 平成26年度 LED 防犯灯賃貸借(4件)
4066万2千円、4492万8千円、
5108万4千円、5400万円